

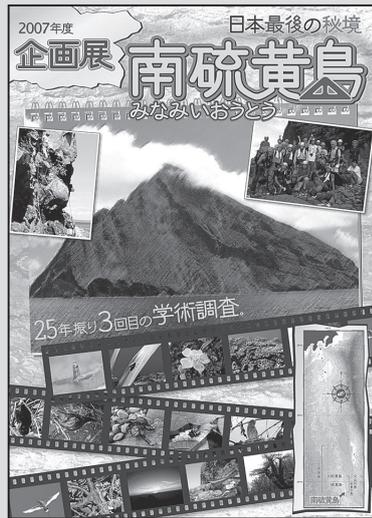
開催中!

企画展 みなみいおうとう 日本最後の秘境 南硫黄島

12月8日(土)～2008年2月24日(日)

小笠原諸島の南端に位置し、原生自然環境保全地域として立ち入りが禁止されている南硫黄島の学術調査が、2007年、25年ぶりに実施されました。この企画展では、調査の様子とさまざまな新発見のあった成果を紹介します。

企画展観覧料/無料



予告!

生命の星・地球博物館開館記念日事業 ミューズ・フェスタ 2008

2008年3月15日(土)・16日(日)

博物館の開館記念日を祝ってお祭りを行います。子ども向けの体験コーナーや野外観察会、ミニコンサートなど、大人も子どもも楽しめる催しをたくさん用意しています。お気軽にご参加ください。

ライブラリー通信

自由のたびびと

しのぎよしこ
篠崎淑子(司書)

菌類担当の学芸員から『南方熊楠菌類図譜』という本を寄贈されました。編集はワタリウム美術館。どんな美術館なのか、ホームページを見に行ってみました。10月6日から「クマグスの森展 南方熊楠の見た宇宙」が開催されています。この本はこの展覧会を記念して出版されたようです。

しかしホームページの画面に広がっている南方熊楠氏の写真はどこかで見たような…。昨年、国立科学博物館で「第4回日本の科学者技術者展シリーズ 森羅万象の探求者南方熊楠」という展覧会がありましたが、そのパンフレットの表紙がこの写真でした。バスタオルのようなものを身体に巻きつけ、くわえタバコで腕を組み、じつこちらを見えています。バックの風景は庭なのでしょうか、うっそうと繁ったジャングルのようにも見えます。ワタリウム美術館のホームページの写真のほうがもう少し遠景まで写されていて、遠くに山々が広がっていました。偉大な菌類学者ですが、この写真はなかなかインパクトのある1枚です。

南方熊楠氏については、『自由のたびびと南方熊楠』という伝記が、ライブラリーの子どもの本コーナーにあります。イギリスでは『nature』という学術雑誌に論文を掲載されるなど、外国で活躍されていたことは知っていましたが、帰国して弟の援助を受けながら(実家は南方酒造)研究を続け、40歳で結婚した話はこの本で初めて知りました。結婚が決まった熊楠氏は、奥さんになる人を洋装で散歩に誘ったものの断られ、今度はゆかたで汚い猫を連れてきては、「猫を洗ってくれ」といって何匹も汚い猫を洗わせたというエピソードが紹介されています。猫を洗ってもらっているときだけ一緒にいられるのがうれしかったのでしょうか。この本には、「こどもの心をもちつづけた学問の巨人」、という副題がついています。

『南方熊楠菌類図譜』では、熊野の森で40年間かけて描き続けた120枚のきのこの絵が、萩原博光氏の解説で紹介されています。どの絵も素晴らしいのですが、扉やカバー裏の熊楠氏の写真、たとえば採集旅行に出かけるときのゆかた姿にくわえタバコなども楽しいので、ぜひ手にとって見ていただきたいです。

催し物のご案内

●室内実習「博物館ボランティア入門講座」[博物館]

日時/2月7日(木)～2月16日(土)のうち3～5日間

連続講座 10:00～15:00

※分野により実施日が異なります。

分野/維管束植物・菌類・魚類・昆虫・哺乳類・古生物・ライブラリー・展示解説(申込時に、希望分野を第2希望までご記入ください)

定員/展示解説10人、その他の分野各3～5人

申込締切/1月22日(火)消印有効

●室内実習「ダイバーのための魚類学講座」[博物館]

日時/2月17日(日)・24日(日)の2日間 9:30～16:00

対象/中学生～大人10人

申込締切/1月29日(火)消印有効

●野外観察「早春の地形地質観察会」[横浜市戸塚区周辺の多摩丘陵]

日時/3月2日(日)10:00～15:00

対象/小学4年生～大人、保護者、教員40人

申込締切/2月12日(火)消印有効



催し物への参加について

上記の催し物の受講料は無料です。ただし、野外観察や実習作業を伴う講座は傷害保険(1人・1日50円)への加入をお願いします。

また、参加には事前の申込が必要です。応募多数の場合は抽選となります。参加方法や各行事の詳細については、下記の連絡先までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

問合せ先

神奈川県立生命の星・地球博物館

企画情報部企画普及課

所在地 〒250-0031

小田原市入生田499

電話 0465-21-1515

ホームページ <http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html>